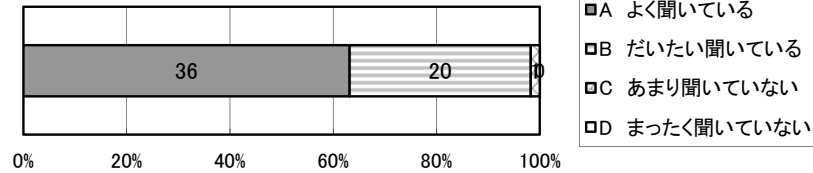


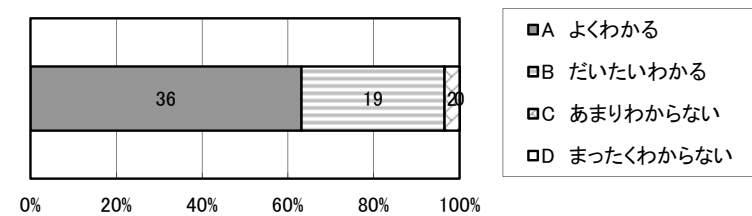
*** 4・5・6年の児童アンケート報告 ***

(1) 授業中先生の話や友だちの発表を聞いていますか。



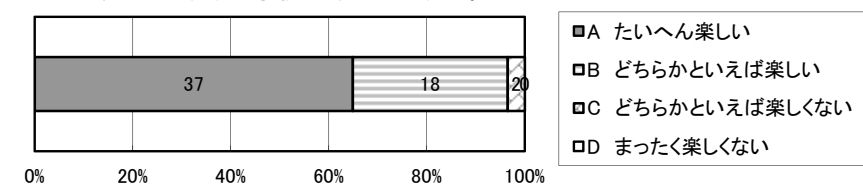
よく聞いている・だいたい聞いていると答えた児童を合わせると、ほぼ100%です。普段から朝礼や授業中など、本校の児童は、本当に人の話をしっかり聞くことができていると感じます。本校では、「思いを伝え合う力の育成」を目指していますが、伝え合うためには、「話す力」以上に「聞く力」が必要となります。これからも、しっかり話を聞くことができる子供の育成を目指していきます。

(2) あなたは、授業の内容がわかりますか。



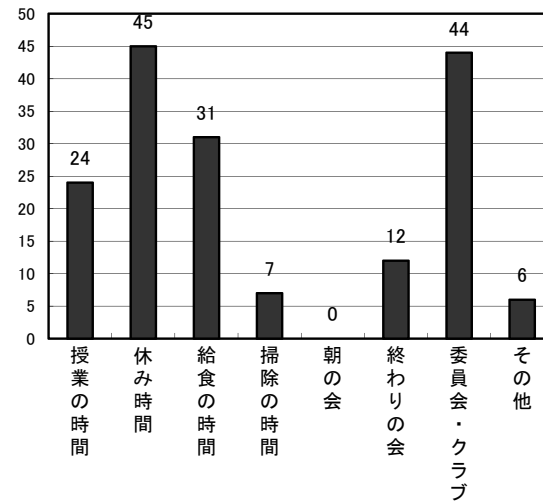
授業の内容がわかると答えた児童は、昨年度より3%増えて96%となりました。(1)の授業中に話を聞くことができていることも大いに関係があり、授業がわかるためには話を聞かなければなりません。あまりわからないと答えた児童については、無記名アンケートではありますが、実態を把握して「聞く」以外の課題を含めて対応を考え、個別の指導や補習などをして対応して参ります。

(3) あなたは、今の学校が楽しいですか。



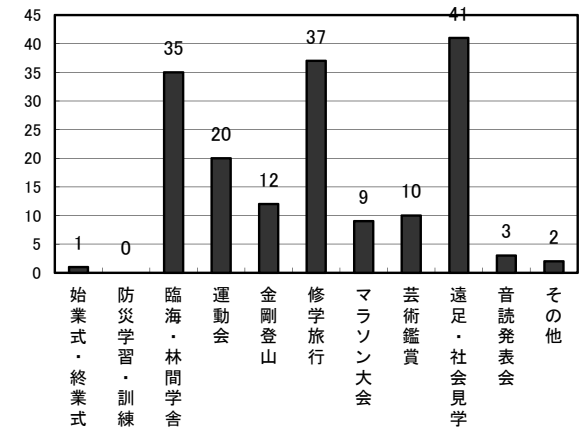
A・B合わせた肯定的な評価は約96%と、昨年度と同じ割合です。どちらかといえば楽しくないと答えた児童もいますので、無記名アンケートではありますが、各担任が様子を見ながら、対応が必要な児童に対し、その児童に合った支援を心がけて参ります。要因は様々ですが、学校としては、全員の居場所を大事にしなが、集団生活の中での自尊感情を高められるよう、努力して参ります。

(4) あなたは、学校の時間で何の時間が楽しいですか。



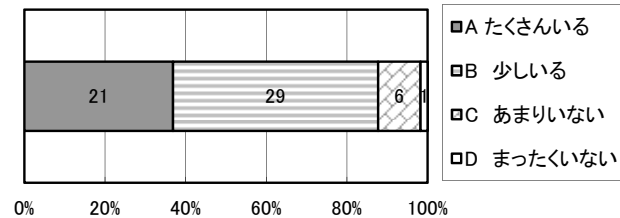
学校での楽しい時間、ベスト3は、①休み時間②委員会・クラブ③給食の時間です。この傾向は昨年度、一昨年度の調査と変わりありません。休み時間は、自由な時間であり、委員会・クラブも縦割り集団で選択した活動が楽しいのだと思います。給食が楽しいと感じている子が多いのはうれしいことです。その他は、おはなし会やなかよし班遊び、バス登下校でした。授業時間を楽しいと答えた児童が、昨年度の2倍になりました。うれしい限りです。「やさしさと笑顔いっぱいの学校」という教育目標を具現化するために、これからも努力して参ります。

(5) あなたは、学校行事の中で何の行事が楽しいですか。



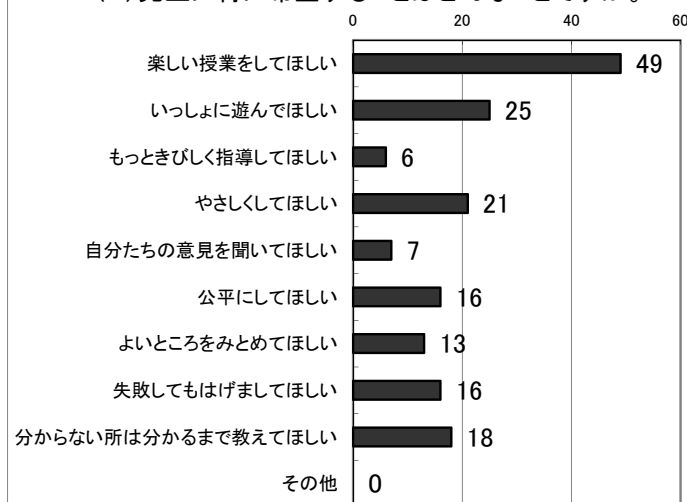
遠足・社会見学や臨海・林間学舎、修学旅行などの校外学習・行事は、子供たちにとってとても楽しいものようです。マラソン大会や金剛登山など、しんどさを乗り越える部分がある行事への回答数も一定あります。達成感を味わう魅力があるのかもしれませんが、「防災学習・訓練」の項目を昨年度に続き入れましたが、これは楽しい行事というよりは、自分の命を守る真剣な場という捉えからか、回答がありませんでした。その他は、なわとび集会・なわとび教室と赤阪小との交流でした。集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする主体的、実践的な態度を育てることが学校行事の目標です。学校行事が子どもたちにとって充実したものとなり、そして成長に寄与できるように、これからも努力、工夫を続けて参ります。

(6) 学校にあなたの気持ちをわかってくれる友だちがいますか。



約88%の児童が気持ちをわかってくれる友だちがいると答えています。そしてたくさんいると答えた児童は37%います。しかしまったくいないと答えた子が1名、あまりいないと答えた子も6名いました。単学級の小規模校だけに、多様な出会いの場には恵まれませんが、ずっと一緒に学校生活を送る仲間の良いところをたくさん見つけ、信頼関係を豊かにしていけるよう支援していかねばなりません。個別の相談活動に力を入れるとともに、普段から児童との関わりを深くし、少しのサインも見逃さないよう努力します。関係諸機関とも連携しながら、学級や学校全体での「仲間づくり」を推進いたします。

(7)先生に特に希望することはどんなことですか。

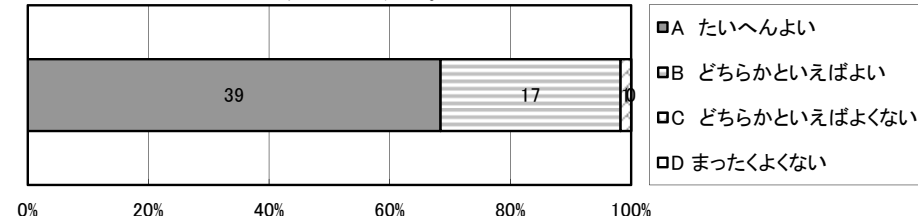


子供たちが先生に期待することは、

- ①楽しい授業をしてほしい
- ②いっしょに遊んでほしい
- ③やさしくしてほしい

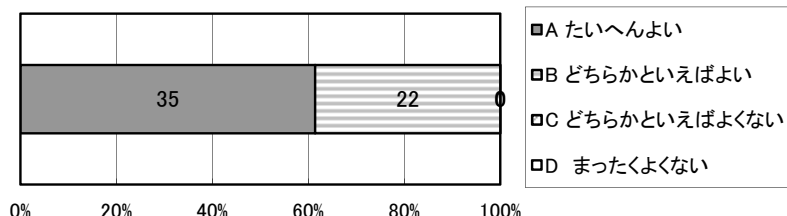
という3項目に、多くの回答がありました。この設問は、「現在そうではないので、そうあってほしい」、「現在満足しているが、引き続きそうあってほしい」という思い、どちらも含まれています。「公平にしてほしい」「自分たちの意見を聞いてほしい」の2項目が昨年度より増えています。改めて、日々の対応がどうか、職員で振り返ってみます。①は、昨年度同様もっとも回答が多い項目で、回答数さらに増えていました。現状に満足しての今後の期待か、まだまだ期待に応えられていないのか、もう少し分析してみたいと思います。子供たちの自尊感情を大切にしながら、子供たちの願いに応えるべく、学ぶこと自体に楽しさを感じられる授業、分かる授業づくりに力を入れて参ります。

(8)教科によって担任以外の先生が授業をすることについてどう思いますか。



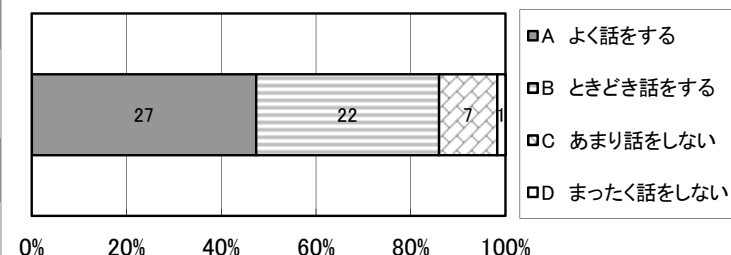
ほぼ全員の児童が担任以外のいろいろな先生の授業を受けることを望んでいるという結果でした。そうではない児童も、わずかですがいます。学級担任の授業スタイルで統一されている方がよいなど、個別の理由があるのだらうと思われる。いろいろな教師の専門性や個性に触れることは、社会性を培う上では大切なことです。小規模校ですので全員の教師が全ての子供に関われるように努力しています。これからもより多くの教師が関われる体制を続けて参ります。

(9)あなたは、二人以上の先生に教えてもらったり、少ない人数で授業を受けたりすることについてどう思いますか。



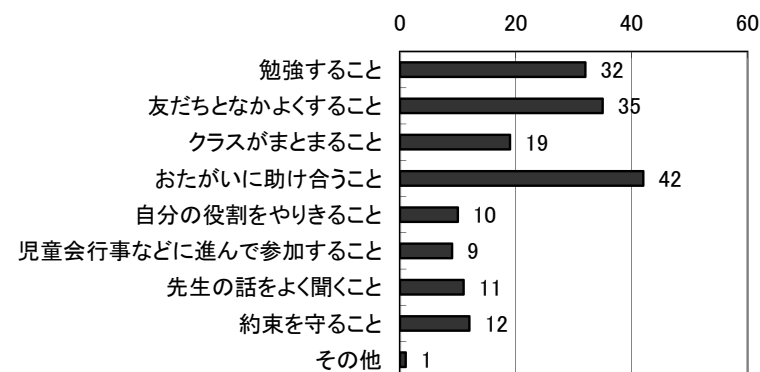
授業方法の工夫・改善のため、算数科を中心に、2コース別の授業やT. T. (教員2人体制)授業を取り入れています。全児童がそれらを肯定的にとらえています。習熟度別の学習など、今後も一人ひとりを大切にしたいきめ細かな指導を進めるとともに、個の課題に応じた授業のあり方を研究し、実践を進め、分かりやすい授業ができるよう、努力を続けて参ります。

(11)あなたは、お家の方に学校のことを話しますか。



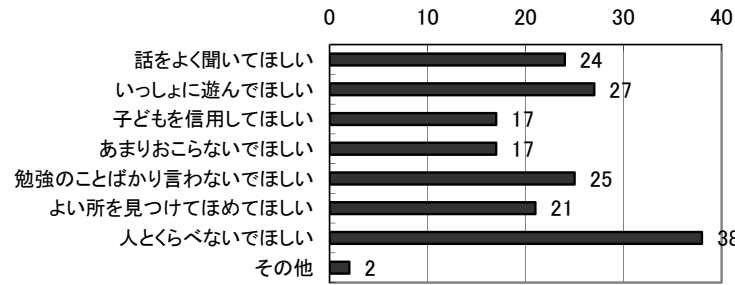
多くの児童が、学校のことを家庭で話しているようですが、あまり話をしない・まったく話をしない児童もいます。ご家庭での生活サイクルや、個々の児童の気質など事情はさまざまと思いますが、学校での話を聞くことを、保護者の皆さまも楽しんでいただく雰囲気や、お子さんとの会話をこれからも大事にしていだけたらと思います。学校だよりや学年だよりも、ぜひご活用ください。本校ホームページの更新にも、引き続き努めて参ります。それらがご家庭での話題作りの一助となれば、幸いです。

(10)学校生活で特に大切だと思うことは何ですか。



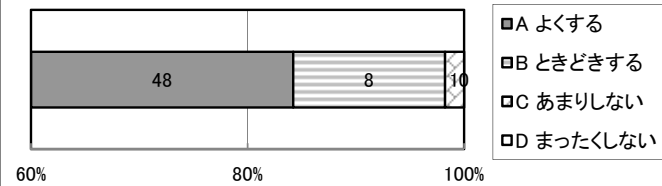
①友だちとなかよくすること。②おたがいに助け合うこと。③勉強すること。④クラスがまとまること。・・・など子供たちは自分たちの学校生活をよりよいものにするため、大切にしなければならないことについて、しっかり考えているようです。昨年度初めて、「先生の話をよく聞くこと」が4番目に入りましたが、今年度は「クラスがまとまること」と順位が入れ替わりました。極端な変動ではありませんでしたので、大きな傾向ではないかもしれませんが、しっかり聞くことは今もよくできています。仲間作り・学級づくりは、人権教育の観点からも、今年度力を入れて取り組んできました。引き続き、一人ひとりの児童の思いを受け止め、充実した学校生活となるように努めて参ります。

(12) おうちの方に特にしてほしいことは何ですか。



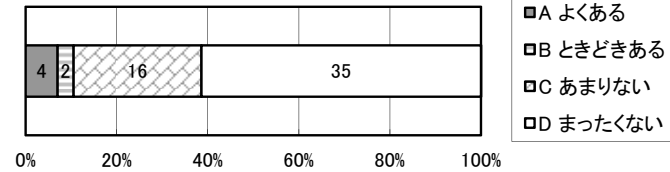
子供たちからおうちの方に望むことについては、昨年度と大きく変わり、「人とくらべないでほしい」が断然多くなりました。「いっしょに遊んでほしい」「話を聞いてほしい」も増えていきます。親子・家族関係は、時代により、またご家庭の事情により異なる場所もあるとは思いますが、結果から、子供たちの思いの傾向を受け止めていただき、お子さんとのかかわりについて、ご参考にしていただければ幸いです。

(13) あなたは、近所の方に会ったらあいさつしますか。



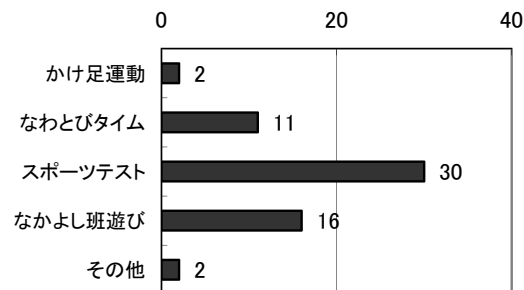
日ごろから、近所の人とよくあいさつができているようです。子供と地域の方々との関わりが強い、この地域の良さが表れています。実際、いろいろな場面で、地域の方からあいさつだけでなく、温かいお声をかけていただいています。感謝申し上げます。今後も、「あいさつ運動」などの取組みを地域の方々と共に進めて、自分から進んであいさつできる子供の育成に努力して参ります。

(14) 近所の方からあなたのしたこと注意されたことがありますか。



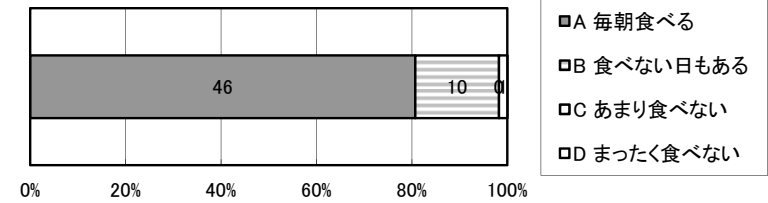
近所の方から注意をされたことがある(よく・ときどき)のは約1割の児童でした。気になる行動について、地域の方がお声かけくださったのだと思います。(13)とも関連いたしますが、「子ども安全見守り隊」の方をはじめ地域の方々にご協力いただき、声かけやあいさつを手厚くしていただいております。子供と地域の方々との関わりは大切ですので、子供たちへの温かい関わりを、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

(17) 体力作りの大切さや運動の楽しさを感じるのはいずれですか。



この調査は、今年度初めて追加いたしました。その他は、運動会と水泳でした。スポーツテストという回答が断然多い結果となりましたが、これは、運動の楽しさを感じることも、結果がデータ(数値記録)としてはっきりと出ること、「体力作りの大切さ」を実感する機会となっているからだ判断しています。スポーツテストの結果は、校内で分析を行い、日ごろの体育の授業や様々な運動体験に傾向や課題を反映させるように努めております。スポーツテストを中心にさまざまな場面で、児童自身が体力作りの大切さや運動の楽しさを意識して運動に取り組むために、特にスポーツテストの結果を、より有意義に活用できるよう、次年度は工夫いたします。

(15) あなたは朝ごはんを食べていますか。



朝食を毎朝食べることは、健康な生活には欠かせないことです。食べない日もある、あまり食べない、まったく食べないという児童の割合は、約19%でした。一昨年度は約13%、昨年度が約24%でしたので、再び減少に転じました。今年度、栄養教諭はじめ担当組織が、「朝食摂取」の啓発に力を入れて取り組みました。保護者の方のご理解を一定得られた部分もあるのではないかと考えます。学校で児童が不調を訴えたり、イライラしたり、授業中に集中が続かなかつたりするのは、朝ごはんを食べていないことと関連があることも多くあります。今後もぜひ、朝食を食べて登校できるようご協力をお願いいたします。学校では毎月、「こころと体とくらしのアンケート」を実施し、児童の心身状態の把握、より良い生活習慣・学習習慣の定着にむけての指導・支援を行っております。もし、何か食べることができない事情や健康上の理由等ありましたら、ぜひとも学校までご相談ください。

(16) 道徳の時間に、特にみんなと考えたいことは何ですか。



道徳は今後、特別な教科として指導内容や評価の方法が大きく変わる予定です。本校では現在、道徳の学習については、現行の道徳の枠組みで、日々の授業を大切にしており、年間35時間、規定されている全ての価値項目(誠実・明朗、思いやり・親切、友情・信頼・助け合い、公正・公平・正義など)を扱って、授業を行っています。それらの価値項目は、大きく4つにまとめられています。それが、上のA~Dです。「生命尊重」や「自然愛・環境保全」などの価値項目が含まれるDの「命や自然のこと」を大事に考えている児童が、この調査を初めて追加した昨年度同様、最も多いということが分かりました。次年度の道徳の年間授業計画を作る際に、どの価値項目を重点目標にするのかを決める、参考にいたします。